

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成23年 3月

(平成23年 2月末調査)

平成23年 3月22日
長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏 訪 信 用 金 庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【 1 月】	諏訪公共職業安定所管内	0.57 倍	+0.18 ポイント
手形交換高【 2 月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	7,163 枚	△105 枚
	金 額	8,788 百万円	+763 百万円
	うち不渡り	枚 数	4 枚
	発生状況	金 額	+4,418 千円
電力使用量【 2 月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	75,962 MWh	+4.2 %
	高圧電力計	111,999 MWh	+5.9 %
	合 計	187,961 MWh	+5.2 %
車庫証明取扱件数【 2 月】(諏訪地方合計)		1,001 件	+3.2 %
新設住宅着工戸数【H22.4～H23.1】(諏訪管内)		843 戸	△16.0 %

□本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

●製造業

自動車関連の下請企業の受注状況は、比較的堅調に推移している企業が多いもののコストダウン要請や海外シフトを懸念する声もきかれる。工作機械・専用機は、国内向けは引き続き低水準であるも、アジア向けは堅調であり受注が増加している企業がみられる。デジタル一眼レフ関連の下請企業の受注は、親会社により増減が区々の状況が続いている。金型関係の受注状況は企業により区々であるが、引き続き携帯電話やゲーム機関連で動きがきかれる。

地域製造業の生産状況は、回復傾向が続いている企業と一服感がある企業というように繁閑が区々となっている。また、生産水準は回復するもコストダウンの受け入れにより、売上高や収益性は改善していない企業も多い。

●商業

諏訪地方の2月の天候は、移動性高気圧に覆われ晴れた日が多かったものの、中旬は低気圧の通過の影響から降雪量が多くなった。

例年に比べ降雪量が多かったことから、衣料品では春物衣料の出足が遅れた一方、発熱下着や手袋等の防寒衣料でカバーした店舗がみられる。食料品では、一般食品での節約志向は続いているものの、バレンタインデーの友チョコや節分の恵方巻きなどの定着からイベント関連の売上は堅調とする店舗も多い。

また、諏訪地方の2月の車庫証明件数（軽自動車除く）は1,001台で前年同月比+31台の増加とエコカー補助金終了に伴う前年割れの状態から6ヶ月振りに前年同月を上回った。

ただし、中東等の政情不安による原油価格の高騰によりガソリンや灯油の価格も上昇しており、今後消費マインドの低下が危惧されている。

●観光業

例年 2 月は観光シーズンの端境期であり入り込み客数は弱含むが、今年の 2 月は信州 D C 終了後も団体客の取り込み等がみられたことから、地域への入り込み客数は昨年よりも増加した模様である。なお、各スキー場への来場者数は施設により増減が区々となっている。

上諏訪温泉は、休館日等が設定された昨年同月に比べ団体客の入り込み状況は堅調で、総体の宿泊客数は前年同月比 10～15% 程度増加している。諏訪大社（上社・下社合算）の 2 月の参拝者数は約 32 千人で前年同月比約△2 千人の減少となったが、昨年 2 月は御柱祭の抽籤式により参拝客数が大幅に増加しており平年に比べると参拝客数は堅調である。

また、安曇野を舞台に 3 月末から放映される NHK 連続テレビ小説「おひさま」に合わせた企画が諏訪地域でも検討されている。

●建設業

市町村の 2 月の発注工事は、建築工事 2 件 35 百万円、土木工事・下水道工事 36 件 266 百万円、その他工事 12 件 42 百万円の合計 50 件 343 百万円で、前年同月比で件数は△12 件減少したものの契約金額は+52 百万円の増加となった。県関係の 2 月の公共工事（地元業者受注分）は 15 件 152 百万円で、平成 22 年 4 月～平成 23 年 2 月の累計契約は 192 件 4,007 百万円と前年同期累計比で件数は+6 件増加したものの、契約金額は△588 百万円の減少となった。民間工事は、諏訪地方の 1 月の新設住宅着工戸数は 61 戸と前年同月比+6 戸（+10.9%）の増加となった。なお、平成 22 年 4 月～平成 23 年 1 月の年度累計は 843 戸で前年同期累計比では△160 戸（△16.0%）の減少となっている。

●雇用

諏訪地域の 1 月の有効求人倍率は、前年同月を+0.18 ポイント上回り 0.57 倍と前年同月を 10 ヶ月連続で上回っているものの依然として低水準で推移している。また、全国の同倍率は 0.61 倍、長野県の同倍率は 0.63 倍となっている。

諏訪地域の 1 月の新規求人（全数）は 1,254 人で前年同月比+386 人（+44.5%）の増加、新規求職者数は 1,309 人で前年同月比+108 人（+9.0%）の増加となっている。

産業別の前年同月比の新規求人数は、介護職での欠員補充等があった医療・福祉業で+92.6%増加、卸・小売業でも+47.1%増加となっている。なお、1 月の 1 件 10 人以上の人員整理は 1 件 10 人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は 52 人で前年同月より△52 人減少、前月より△8 人減少した。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	足元の受注は在庫調整等の影響がみられるものの、基調としては持ち直しが続いている。
コンデンサー	受注は弱含みで推移している。
プリンター	サーマルプリンター関連は比較的堅調であるが、他機種の生産状況は弱含みのまま推移している。
コンタクター・リレー	受注は安定しているが、原材料価格の上昇がきかれる。

2. 輸送用機械

自動車	受注は堅調に推移している企業が多いものの、コストダウン要請や海外シフトを懸念する声がきかれる。
ピストンリング・シリンダーライナー	下請企業の受注は幾分弱含んでいる。
船外機	新興国向けの機種を中心に受注は好調である。

3. 一般機械

工作機械・専用機	国内向けは引き続き低水準であるも、アジア向けは堅調であり受注が増加している企業もみられる。
搬送用機械	食品関連向けの受注は堅調である。
金型	受注状況は企業により区々であるが、携帯電話やゲーム機関連で動きがきかれる。
ダイカスト	受注は横這い水準の企業が多い。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの1月の生産台数は603万台で前月比△29.4%減少、前年同月比△7.8%減少となっている。1月の出荷台数は国内出荷51万台、海外出荷568万台の合計620万台で出荷台数全体では前月比△27.5%減少、前年同月比△1.4%減少となっている。 デジタル一眼レフ関連の下請企業の受注状況は、親会社により増減が区々の状況が続いている。
レンズ	足元の受注が増加している企業もみられるが、レアアース問題から研磨剤の価格は高騰したまま推移している。

5. 織 維

ニット

夏物のサンプル生産に移行しているが、小ロット傾向は続いている。
新興国需要の増加や原油高騰の影響から原材料費が上昇している。

6. 食 品

寒天

降雪の影響等から観光施設やスーパーでの売れ行きは幾分弱含んだ。
今季の製造は天候に恵まれ 1 割程度の増産となった。

味噌

出荷は平年並みとなっている。

7. 製 材

諏訪地方の 1 月の木造住宅着工戸数は 54 戸で、前年同月に比べ +9 戸の増加となった。建材の値上がりがきかれる。

8. 建 設

公共工事

1 月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所 6 件、林道治山工事関係 2 件、農地整備課 3 件、その他土木工事 4 件の合計 15 件、契約金額 152 百万円となった。また、平成 22 年 4 月～平成 23 年 2 月の累計契約は 192 件 4,007 百万円と前年同期累計比で件数は +6 件増加したものの、契約金額は △588 百万円の減少となった。

市町村の 1 月の発注工事は、建築工事 2 件 35 百万円、土木工事・下水道工事 36 件 266 百万円、その他工事 12 件 42 百万円の合計 50 件 343 百万円で、前年同月比では件数は △12 件減少したものの契約金額は +52 百万円の増加となっている。

4 月以降の新年度の公共工事は、大幅な減少が予想されている。

民間工事

諏訪地方の 1 月の新設住宅着工戸数は 61 戸で前年同月比では +6 戸 (+10.9%) の増加となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は +1 戸増加の 45 戸、「貸家」は +6 戸増加の 14 戸、「給与」は △1 戸減少の 0 戸、「分譲」は前年同数の 2 戸となった。また、平成 22 年 4 月～平成 23 年 1 月の年度累計は 843 戸で前年同月累計に比べ △160 戸 (△16.0%) の減少となっている。

また、長野県内の 1 月の新設住宅着工戸数は 573 戸で、前年同月比 △32.3% の減少となっている。なお、前年同月比の利用関係別では、「持家」が 378 戸で △9.4% 減少、「貸家」が 139 戸で △61.6% 減少、「分譲」が 56 戸で △15.2% 減少となった。

9. 商 業

諏訪地方の2月の天候は、移動性高気圧に覆われ晴れた日が多かったものの、中旬は低気圧の通過の影響から降雪量が多くなった。例年に比べ降雪量が多かったことから、衣料品では春物衣料の出足は遅く、野菜価格は高止まりした。諏訪地域の車庫証明件数（軽自動車除く）は、エコカー補助金終了に伴う前年割れの状態から6ヶ月振りに前年同月を上回った。

中東等の政情不安による原油価格の高騰によりガソリンや灯油の価格も上昇しており、今後消費マインドのさらなる低下が危惧されている。

衣料	気温は比較的高かったものの降雪量が多かったことから、春物衣料の出足は遅れた一方、発熱下着や手袋等の防寒衣料でカバーした店舗もみられる。
食料品	一般食品での節約志向は続いているものの、バレンタインデーの友チョコや節分の恵方巻きなどの定着からイベント関連の売上は堅調とする店舗も多い。夜間の時間帯の売上が弱含んでいるとの声がきかれる。
家電製品	駆け込み需要の反動は残るものの薄型TVの売れ行きは堅調であり、昨年に比べエアコンの動きは早まっている。また、3D対応の新型ゲーム機の出足は好調である。
自動車	諏訪地方の2月の車庫証明件数（軽自動車除く）は1,001台で前年同月比+31台（+3.2%）の増加とエコカー補助金終了に伴う前年割れの状態から6ヶ月振りに前年同月を上回った。
ホームセンター	降雪の影響から、春の園芸用品の動きは例年に比べ遅れている。

10. 観 光

例年2月は観光シーズンの端境期であり入り込み客数は弱含むが、今年の2月は信州DC終了後も団体客の取り込み等がみられたことから、地域への入り込み客数は昨年よりも増加した模様である。なお、各スキー場への来場者数は施設により増減が区々となっている。

また、安曇野を舞台に3月末から放映されるNHK連続テレビ小説「おひさま」に合わせた企画が諏訪地域でも検討されている。

上諏訪温泉	休館日が設定された前年同月に比べ、団体客の入り込み状況は堅調で総体の宿泊客数は前年同月比10～15%程度増加している。
蓼科・白樺湖・車山	宿泊客数、入り込み客数ともに弱含みのまま推移している。
下諏訪温泉	ホテル旅館により区々であるが、前年に比べ宿泊客数は弱含んでいる。
諏訪大社	上社・下社合わせた2月の参拝者数は約32千人で、前年同月比約△2千人の減少となった。昨年2月は御柱祭の抽籤式により参拝客数が大幅に増加しており、平年に比べると参拝客数は堅調である。